第２２回　３４歩く会

平成３０年１０月２０日（土）

空堀川を遡る

上北台駅から野山北公園までの空堀川を歩く

撮影；川鍋正義、編集；岡田正嗣、印刷；伊藤克夫

今年の夏は、各地で40℃を超す異常な猛暑の日が続き、９月に入ると記録的な猛烈台風が吹き荒れ、大雨や地震など、異常気象に見舞われた。　強力な南風が吹き、木々の葉が塩害で枯れ落ち、各地で桜が狂い咲きしている。畑の野菜も台風の被害を受けた。　１０月になっても台風が来襲し、この９，１０月はほとんど毎日雨模様の天気が続いた。そんな中、今回の「３４歩く会」となった。

朝９時１５分に，集合場所のモノレールの上北台駅に行くと、もう日橋さん、並木さんの２名が来ている。　天気は晴れたり曇ったりで、暑くも無く寒くも無く，ウオーキングには丁度良い天候だ。今日一日、このお天気が続いてくれれば良いが・・・　やがて矢沢さん等、おなじみの顔が次々に現れる。　E組の西川さんも顔を見せてくれた。　小田原からは大貫さん、都内からは尾又さん、八王子の山崎さんも見え、さらに那須からは大友さんも初参加だ。　合計１５名が集まり、再会を祝す。

1. **開催日；　平成３０年１０月２０日（土）　１０時集合**
2. **集合場所；　上北台駅**
3. **歩行コース；　(ト)はトイレ**

上北台駅(ト)→中砂橋→歴史民俗博物館(ト)→野山北公園(昼食)(ト) →六地蔵

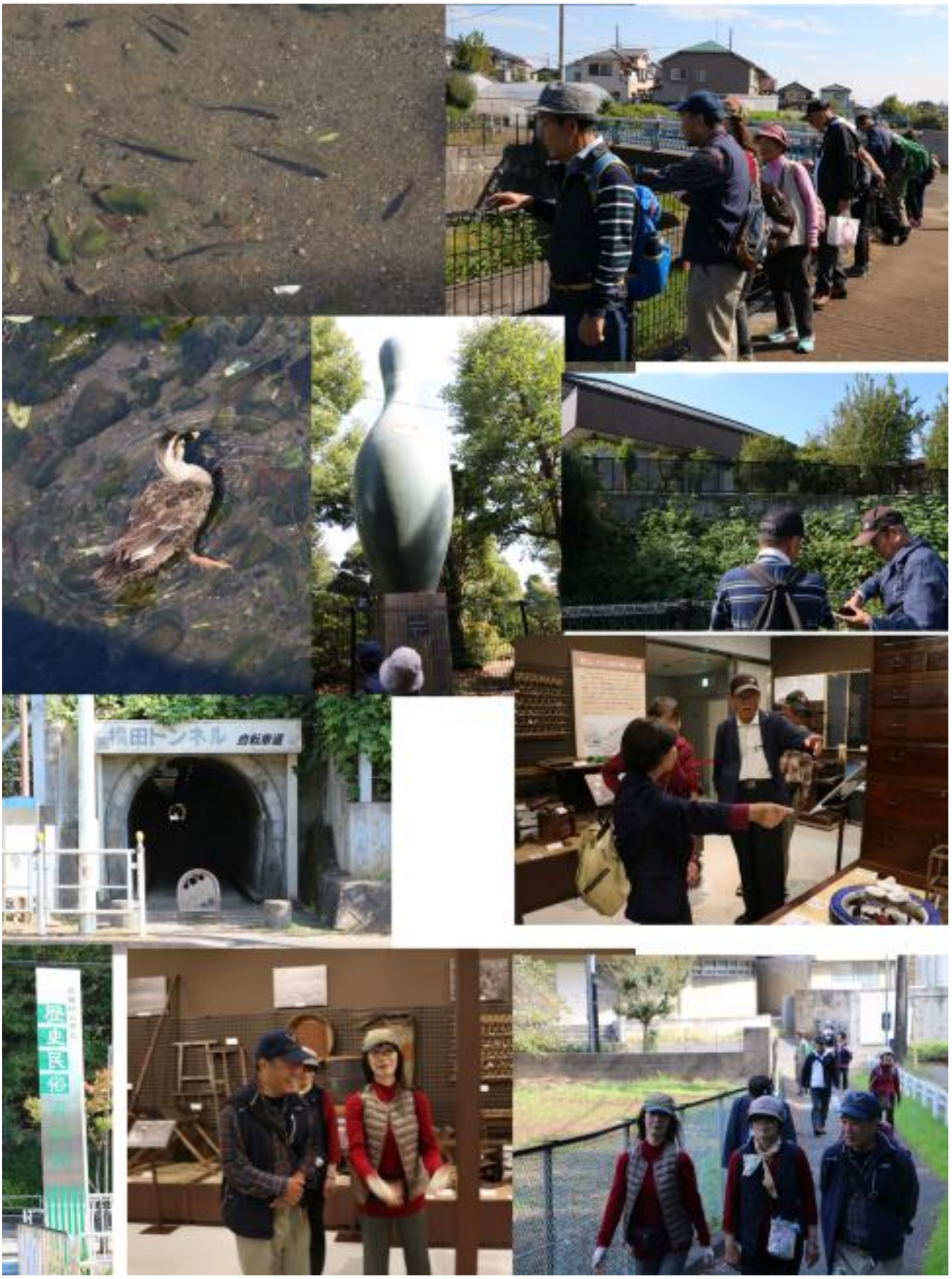
10:10　11:00　11:40　11:55　12:00　12:40　12:50

→出会いの広場→滝の入不動→→長円寺→→新青梅街道→イオンモール(ｸﾗｽ会)

12:55 13:00　13:10　13:15 13:20　13:45　14:35

第22回　34歩く会
平成30年10月20日

空堀川の遊歩道


堀田トンネル
自転車道

野山北公園で昼食

長圓禅寺
長圓寺

第２２回　３４歩く会

平成３０年１０月２０日（土）

空堀川を遡る

上北台駅から野山北公園までの空堀川を歩く

緑と水に恵まれた我が東大和市の真ん中を、西から東へと流れる空堀川を遡って歩きましょう。

空堀川は、狭山丘陵の南西、武蔵村山市の野川北公園から武蔵村山市と東大和市の真ん中を流れ、東村山市、清瀬市を経由して柳瀬川に合流している一級河川です。

この数年、災害防止の観点から大規模な工事により新しく生まれ変わりつつあります。新しくできた河川敷の脇には旧河川が取り残されているところもあり、新旧の対比、周辺の変貌などを見つめ直すことも興味深いのではないでしょうか。また、空堀川からの眺めは、普段見慣れた景色とは全く別の景観が観られ、どこかよその町に行ったような気分にもなることでしょう。

空堀川にはいろいろな水鳥も来ており、小魚も泳いでおり、自然が豊かで、広い河川敷を歩けるところもあります。　空堀川は平成 25 年 10 月の第 12 回例会で、上北台から久米川を経由して西武線の秋津駅まで遊歩道を歩きましたが、今回は空堀川の源流まで遡って歩きましょう。

上北台から上流の空堀川の遊歩道は整備中で、途中からは昔のままの曲がりくねった細い川になっておりますが、青梅街道を横切り、横田トンネルの入り口、かたくりの湯の脇を流れ、野山北公園の釣り堀や田んぼから流れ出ております。　そんな空堀川の遊歩道や川に沿った路を歩きましょう。

野山北公園で昼食の後山道に入り、六地蔵を経由して滝の入不動から長円寺に寄り、新青梅街道を横切り、イオンモールまで歩き、解散としましょう。

なお、長円寺近くの「織物センター」に寄りたかったのですが、開館は平日のみでした。

そしてイオンモールでお疲れ様会を開催しましょう。イオンモールからは、南街方面や、立川方面、昭島方面、箱根が崎方面など、各方面にバスが出ております。（歩行距離；８～９ｋｍ）

１．　開催日；　平成３０年１０月２０日（土）　１０時集合

２．　集合場所；　上北台駅

３．　歩行コース；　(ト)はトイレ

上北台駅(ト)→中砂橋→歴史民俗博物館(ト)→野山北公園(昼食)(ト) →六地蔵
10:10　11:00　11:40　11:55　12:00　12:40　12:50

→出会いの広場→滝の入不動→→長円寺→→新青梅街道→イオンモール(ｸﾗｽ会)
12:55 13:00　13:10　13:15 13:20　13:45　14:35

４．　注意事項；

① 小雨決行です。

② 昼食は、上北台駅付近で購入が可能ですが、前もってご用意しておくことをお勧めします。

③ トイレは上北台から歴史民俗博物館までの間にはありません。

第22回　３４歩く会　　**2018年１０月２０日(土)**

空堀川を遡る　歩行記

今年の夏は、各地で40℃を超す異常な猛暑の日が続き、９月に入ると記録的な猛烈台風が吹き荒れ、大雨や地震など、異常気象に見舞われた。　強力な南風が吹き、木々の葉が塩害で枯れ落ち、各地で桜が狂い咲きしている。畑の野菜も台風の被害を受けた。　１０月になっても台風が来襲し、この９，１０月はほとんど毎日雨模様の天気が続いた。そんな中、今回の「３４歩く会」となった。

朝９時１５分に，集合場所のモノレールの上北台駅に行くと、もう日橋さん、並木さんの２名が来ている。　天気は晴れたり曇ったりで、暑くも無く寒くも無く，ウオーキングには丁度良い天候だ。今日一日、このお天気が続いてくれれば良いが・・・　やがて矢沢さん等、おなじみの顔が次々に現れる。　Ｅ組の西川さんも顔を見せてくれた。　小田原からは大貫さん、都内からは尾又さん、八王子の山崎さんも見え、さらに那須からは大友さんも初参加だ。　合計１５名が集まり、再会を祝す。

定刻の１０時になり、今日のコースの説明と、次回の３４歩く会の予定を説明。　今日は、緑と水に恵まれた我が東大和市の真ん中を、西から東へと流れる空堀川を遡って歩く。

空堀川は、狭山丘陵の南西、武蔵村山市の野川北公園から武蔵村山市と東大和市の真ん中を流れ、東村山市、清瀬市を経由し、狭山湖を源流とする柳瀬川に合流し、荒川を経由して東京湾に注いでいる一級河川だ。空堀川は平成 25 年 10 月の第 12 回例会で、上北台から久米川を経由して西武線の秋津駅まで遊歩道を歩いたが、今回は空堀川の源流まで遡って歩く。

全員で集合写真を撮って、いざ出発。新青梅街道を横切り、第５中学校の脇を通り、空堀川に出て遊歩道を西に進む。左手には林間公園になっている「ナナモリ」の林があり、一瞬、山の中に入ってきたような感じになる。遊歩道の右手には児童養護施設れんげ学園がある。芋窪街道を横切ると、草の生い茂った遊歩道になり、踏み跡も狭いが、しっとりとした土の上を歩き、気持ちが良い。

東大和警察の北の「上砂橋」からは、再び整備された遊歩道を順調に歩く。薄日が差し、時折涼しいさわやかな風が吹く抜け、何とも気持ちが良い。道端には草が種を実らせており、空堀川の河原にはブタクサの群落が真黄色に広がっている。雲間から覗く青空と、河原の水と、葦の緑と相まって、何とも懐かしい、癒される景色だ。

「下砂橋」まで来ると、その先の遊歩道はまだ工事中で、仕方がなく旧道に入る。道端の家の、二階のベランダの棚に、蔓が広がっており、卵大の大きさの実が房のように沢山付いている。「わあ、大きなブドウだ！」と誰かが叫んだが、よく見るとキウイフルーツだ。それにしても、よくもまあ沢山の実を付けたものだ。

近くの家々の庭先には柿の実が黄色く色づき、美味しそうだ。特に今年は柿の当たり年のようで、たわわに実った柿の枝が、道に垂れ下がっており、手を伸ばすと沢山取れそうだ。

大日堂を過ぎ、植木が良く手入れされたお屋敷を感心して眺めていると、中から車が出てきた。なんと、Ｎさんのご親戚の家で、Ｎさんは車の中のご夫婦とご挨拶。

その先の植木畑まで行くと、道の脇の木に、直径２㎝位の実がたくさんぶら下がっている。サクランボか？　いや、よく見ると「姫リンゴ」だ。小さくても一人前のリンゴのように、少し赤味を帯びてきており、美味しそうに見える。

ススキの生い茂る路を歩いてゆくと、左手に、濃い緑色の茶畑が広がっている。この茶畑

は、平成２３年の第６回の「３４歩く会」で訪れて、全員で写真を撮ったところだ。茶畑の上には、春先、霜による茶の若芽への被害を防ぐための、大きな扇風機が設置されている。

「大曲り」からの道に架かる「中砂橋」を過ぎると、再び整備されたカラー舗装の遊歩道に出る。　遊歩道から川の中を覗くと、一部に残された旧河川に清水が流れている。よく見ると、そこには小魚（ハヤ；ウグイ）の群れが、激しく泳ぎ回っている。その近くにはカモが２羽、ゆったりと泳いでいたが、我々が上から覗き込んで大声で叫んでいるので、あわてている。　周りの景色を見たり、おしゃべりをしながら夢中で歩いていると、気付かないうちにズボンに草の実が沢山付いており、一つ一つ取り除くのに苦労する。こんな風景も我々小さい頃はよくあったもので、懐かしい。石原さんは赤とんぼを捕まえ、これも懐かしい。

良く整備された広々とした空堀川の河川敷と、その両脇には遊歩道があり、視界が広がり、街並みも見えない遊歩道を歩いていると、ここが東京の市内かと疑われるような景色だ。
対岸を見ると、綺麗な和服を着た男の子が二人、お母さんに連れられて歩いている。双子の兄弟で、七五三のようだ。我々が「おめでとう！」と拍手を送ると、恥ずかしかったのか、二人とも扇子で顔を隠しながら母親の方に駆け寄っていった。かわゆーーい！

今日のウオーキングは、天気が良くてさわやかなので、超スローペースで、おしゃべりをしたり、あちこちに立ち寄ったりしているので、ここまで休憩もない。

やがて、青梅街道を横断すると、空堀川は幅４，５ｍの旧河川になり、遊歩道も整備されてなく、家々の間をくねくねと曲がりくねって流れている。

武蔵村山市役所の北付近を歩いていると、大きな屋敷の敷地の中に、高さ５ｍ以上もあるコンクリート製のボーリングのピンの形をしたものが建てられている。なんだろう？推測するに、武蔵村山で最初にボーリング場を設立した記念碑のようだ。　ここまで歩き続けてきたので、空堀川の脇の静かな道端で「立ち止まり休憩」をすることにする。立ち止まって、近くの家を見てＩさんが「どこかのお寺？」と言っていたが、なんと、そう言うＩさんの奥様の実家ではないか。あまりの偶然に、ビックリ！

そこから、大きな道に出て「かたくりの湯」方面に進むと、この辺の空堀川は民家や畑の脇を小さな流れになって流れている。　やがて右手に「横田トンネル」が見えてくる。このトンネルは平成２３年の第６回の「３４歩く会」で歩いたところだ。
「横田トンネル」を過ぎたあたりから、空堀川は暗渠になっており、その上が遊歩道になっている。その暗渠の上を川に沿ってグネグネと曲がりくねって進むと、右手に「歴史民俗博物館」があるので、そこに入る。　受付窓口で「３４歩く会」の入館手続きをして入館。おトイレも拝借して、中をゆっくり見学する。我々が小さいころ使っていた各種の道具類や、家庭の居間の様子などが再現されており、「ああ、これも使っていたよね！」などと、歓声が上がる。カイコや製茶の様子も再現されており、懐かしく、しばし時間を忘れる。

「歴史民俗博物館」を出て、また空堀川の暗渠の上を歩き、運動広場に出てくると、空堀川は２ｍほどの小川になり、細い水の流れになっている。その先には「野山北公園」の池があり、何人もの人が釣りを楽しいんでいる。　何が釣れるのか、なかなか釣り上げている様子が見られない。池に架かる吊り橋を渡ったところで、待ちに待った昼食とする。

大きなベンチに座り、各々お弁当を取り出してパクつく。　木漏れ日の差し込むベンチで、静かに周りの景色を眺めながらお弁当を食べるのは何とも言えない至福の時だ。お菓子やお漬物など、お裾分けが次々に回ってくるので、美味しくいただく。日橋さんからは、大きなリンゴを切り分けたものを、大きな袋に沢山持ってきて下さり、皆さんにお配りしている。

リンゴは大好きなので、何個も遠慮無くいただき、大変美味しく、お腹が一杯になってしまった。

皆さんがお腹が一杯になったところで、集合写真を撮った後、空堀川の源流を目指して再出発。　池のすぐ上流には水田があり、ここで水稲を栽培しており、すでに刈り取った稲の束が、池の近くに沢山逆さに吊るされて干されている。　水田を抜けると、いよいよ細い山道に入り、奥多摩の山の中を歩いているようで、ここが東京都とは思われないような世界に入り込む。山道をしばらく進むと、左手に「源流」の標識があり、谷間に源流らしき場所が見える。ここから空堀川が始まって、東京湾まで流れているのだ！

ここから急な山道を上ると、「六地蔵」の脇に出る。林道を「滝の入り不動」方面に下ってゆくと、コンクリート製の立派な藤棚とﾄｲﾚのある広場に出る。「出会いの広場」だ。この周辺は、南斜面のあちこちに石器時代の住居跡があり、石器や土器などの遺跡が沢山見つかっているところだ。　ここで小休憩。

「出会いの広場」からは、立派な石畳の道を下ると、目前に「里の風景」が広がってきた。お茶畑の向こうにはお寺などが見え、斜面に石碑がたくさん並んでいる。「滝の入り不動尊」だ。その隣には「十二所神社」が並んでいる。　茶畑の脇の農道を下ってゆき、これらに寄ってみようかと思ったが、適当な連絡通路が無かったので、寺社殿を眺めるだけにした。

再び家並みの間の道に入り、さらに細い路地を抜けると、「長円寺」の脇に出た。　寺の境内に入ると、大きな観音様の銅像が聳え立っており、境内も広くよく整備されており、立派なお寺だ。「長円寺」は、曹洞宗の禅寺で、江戸時代に２度の火災で焼失し、明治時代に再建されたものだ。　本堂にお賽銭を上げようとして、あわてて転んだ人もいた。

「長円寺」の境内をゆっくり散策して、青梅街道を横切り、空堀川の支流に出る。この支流に沿って東に下ってゆくと、「野山北公園自転車道」の桜並木の遊歩道に出る。子の遊歩道は、かって多摩湖建設のために多摩川から砂利を運んだトロッコが通っていたところだ。今は、この遊歩道の下には、羽村の堰から取り入れられた多摩川の水が通っており、多摩湖に注がれているのだ。　遊歩道の左右には大きな桜の並木が続いており、春の花見シーズンには見事な「桜トンネル」になることだろう。　「３４歩く会」でも後日、桜のシーズンに歩きたいものである。

桜並木のところに農園があり、農作業をしている人がおり、声をかけてお話をする。なんと、この方は我々のメンバーのＮさんのご親戚の人だった。　お話を聞くと、この脇を流れている空堀川の支流は、地元の人は「へっぴり川」と呼んでいるとのことだ。

この「へっぴり川」に沿ってしばらく進み、新青梅街道の歩道橋に出る。歩道橋の上に登ると、新青梅街道を上から眺めることができ、西には奥多摩の山が見え、そこに向かって大きな道路がまっすぐに伸びており、普段では全く見られない景色だ。

歩道橋からはゴールであるイオンモールまでの間は建物が無く、イオンモール良くが見える。しかし、この周辺は大規模な開発中であり、数年後にはたくさんの建造物などができて、景色は大きく一変することだろう。

そして、予定通り１時半過ぎにイオンモールに到着し、一時解散とした。(約 1500 歩)

今日は、お天気にも恵まれ、事故やトラブルが無く、全員無事にウオーキングができた。

この後、イオンモールの２階でコーヒーやジュースなどをいただきながら団欒とした。さらに、１階で２次会をして大いに盛り上がった。

なお次回は、４月６日に高尾の「多摩森林自然園」で、花見ウオーキングだ。